

氏名	今田 絵里香
職位	COE 特定助教
研究概要 <p>(1) 研究者のよりよい「リサーチ・ライフ・バランス」を明らかにする 京都大学女性研究者支援センターと連携し、研究者のよりよい「リサーチ・ライフ・バランス」を明らかにしてきた。第一に京都大学の女性研究者に質問紙調査を実施した。調査の結果は報告書にまとめるとともに所属学会で報告した。なかでも日本教育学会大会のシンポジウムで日本教育学会会長（佐藤学氏）とともに報告したことは特筆すべきことである。これによって京都大学の取り組みが広く知られることになった。</p> <p>(2) 共同研究「戦後日本におけるジェンダーとセクシュアリティの歴史研究」の実施 大学院生・ポスドクとともに共同研究を実施し、戦後日本におけるジェンダーとセクシュアリティの秩序を明らかにしてきた。</p>	
教育概要 <p>(1) 大学院生・ポスドクのキャリア形成のためのシンポジウム開催 京都大学女性研究者支援センター、キャリアサポートセンターと連携し、大学院生・ポスドクのためのシンポジウムを企画し、実行役を務めた。</p> <p>(2) 共同研究を企画し、大学院生・ポスドクの教育を担う 大学院生・ポスドクとともに研究を実施し、指導を行ってきた。</p>	
業績リスト <ul style="list-style-type: none"> ・(著書・共編著)『京都大学 男女共同参画への挑戦』(京都大学女性研究者支援センター〔落合恵美子・登谷美穂子・今田絵里香〕編)、「京都大学の女性ポスドクター」の章を担当、明石書店、75-103 頁、2008 年 9 月。 ・(著書・共著)『ジェンダーで考える教育の現在 (いま) — フェミニズム教育学をめざして』(木村涼子・古久保さくら編)、「女子高校における女性性利用型成功志向」の章を担当、解放出版社、78-95 頁、2008 年 12 月。 ・(学会報告)「人文社会科学分野における次世代女性研究者育成 — 京都大学女性研究者支援センター調査から」、単独報告、日本教育学会第 68 回大会シンポジウム 2「教育学研究における若手研究者育成」、東京大学、2009 年 8 月。 ・(学会報告)「1950 年代の少女雑誌文化における戦後ジェンダー秩序の形成」、単独報告、日本教育社会学会第 61 回大会、早稲田大学、2009 年 9 月。 ・(学会報告)「女性研究者のワーク・ライフ・バランス (1) — 京都大学女性研究者支援センター就労形態調査から」、単独報告、日本社会学会第 82 回大会、立教大学、2009 年 10 月。 ・(その他・学会賞) 第 3 回日本教育社会学会奨励賞受賞(著書の部、『「少女」の社会史』)、2009 年 9 月。 ・(その他・報告書)「京都大学女性研究者就労形態調査報告」、『文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業 女性研究者の包括的支援『京都大学モデル』平成 20 年度報告書』、京都大学女性研究者支援センター報告書、131-166 頁、177-182 頁、2009 年 3 月。 	

